

お買上票
カンセキ
 毎度ありがとうございます
 佐野店 ☎ 0283-24-8282

本日は、来店いただきまして
 誠にありがとうございます。
 只今、スマイルカード会員募集中
 毎週土・日は2倍ポイントデー

2018年05月14日(月) No. 0001

No041船渡川

4901470151871 JAN
 コピー用紙 インダホワイト
 20 x 単516 ¥1,032
 4901470151864 JAN
 コピー用紙 インダホワイト
 50 x 単2570 ¥12,850

合計 **¥13,882**
 (内税 ¥1,028)

お預り ¥20,000
 お釣り **¥6,118**
 (消費税等 ¥1,028)

***** スマイルポイント *****
 前回ポイント 326点
 今回取引ポイント 128点
 総ポイント 454点

 会員番号 0001010900411034

お買上商品の返品や交換の際には
 商品とレシートが必要となります
 また、返品や交換はお買上日から
 一週間以内とさせていただきます



No. 4934 7点買 12:19TM

お買上票
カンセキ
 毎度ありがとうございます
 佐野店 ☎ 0283-24-8282

本日は、来店いただきまして
 誠にありがとうございます。
 只今、スマイルカード会員募集中
 毎週土・日は2倍ポイントデー

2018年10月31日(水) No. 0001

No045綱川

4901470151871 JAN
 コピー用紙 インダホワイト
 20 x 単516 ¥1,032

合計 **¥1,032**
 (内税 ¥76)

お預り ¥1,032
 お釣り **¥0**
 (消費税等 ¥76)

お買上商品の返品や交換の際には
 商品とレシートが必要となります
 また、返品や交換はお買上日から
 一週間以内とさせていただきます



No. 7553 2点買 17:01TM

領 収 証

岡村 けい子 様

No. 223

金額

¥10,692-

内 訳

現金

小切手

手 形

消費税額等 (%)

コクヨ ウケ-92

但 折込代B3x3,000枚 5/20(日)折込

30年 5月17日 上記正に領収いたしました

収入印紙

ASA 佐野 東部

所長 原 田 誠

栃木県佐野市浅沼町863

TEL 0283-21-1525

FAX 0283-21-0103

領 収 証

岡村 けい子 様

金額	百万	千	円
		7128	

但し 5/20入札. 折込料2000枚
上記の金額正に領収致しました

平成30年 5月17日

佐野市伊勢山町1804-2

読売新聞佐野東部専売所

代表 三澤 文 男

TEL 0283(27)2040

FAX 0283(27)2041

収 入

印 紙

領 収 証

No. _____

平成30年 5月17日

岡村 けい子 様

金額	百	千	円
		7128	

上記金額正に領収いたしました

但し 5/20入 B4 2,000枚

現金	
小切手	

収 入

印 紙

読売センター佐野南部

代表取締役 大 場 均

〒327-0837 栃木県佐野市植野町1873 泉ミナマンション1F
TEL 0283-22-9947

取扱者

領 収 証

No.

30年5月17日

岡村けい子 様

金額 710,692.-

但 3000枚 B4サイズ 5/20入水お送料

上記の金額正に領収致しました

収入
印紙



朝日新聞
サンライズ さのまる
〒470-0001 岐阜市



朝日新聞
佐野西部専売所

堀川新聞店

堀川悦郎

〒327-0014 栃木県佐野市天明町2707
TEL.0283-22-0894 FAX.0283-22-0790

領 収 証

No.

平成30年5月18日

岡村けい子 様

金額 8910

上記金額正に領収いたしました

但し 5/20入 2500枚お送料

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>

収入
印紙

読売新聞佐野専売所

代表取締役 藤野

〒327-0023 栃木県佐野市
TEL 0283-22-5114
FAX 0283-22-5114

取扱者

領 収 証

岡村けい子 様

金額 77128

但し 7/20入 折込料2000枚
上記の金額正に領収致しました

平成30年6月29日

収入
印紙

佐野市伊勢山町1804-2

読売新聞佐野東部専売所

代表 三澤文男

TEL 0283(27)2040
FAX 0283(27)2041

領 収 証 30年6月26日

様

左レシートの金額正に領収致しました。(レシートの無い場合、下記の金額を領収金額と致します。)

お 買 上 票
カンセキ
 毎度ありがとうございます
 佐野店 ☎ 0283-24-8282

本日は、来店いただきまして
 誠にありがとうございます。
 只今、スマイルカード会員募集中
 毎週土・日は2倍ポイントデー

2018年06月26日(火) No. 0029

No029S / C

4901470151871 JAN
 コピー用紙 インダホワイト ¥516

4901470151864 JAN
 A コピー用紙 インダホワイト
 57 x 単 2570 ¥12,850
 Aまとめ値引 (57%) -215

合計 ¥13,151
 (内税 ¥974)

金額	百万	千	円
		13	151

金額の頭部に¥をつける。(内消費税 ¥974 円)

クレジットカード払い
但し 品代

株式会社カンセキ

本社/栃木県宇都宮市西地町1丁目1番1号
 TEL.(028)658-8123

店名 /	佐野店
TEL /	0283-24-8282

重複しての領収証の発行はできません。

割印

収入印紙

200円

割印のこと

担
当

領 収 書

平成30年 9月11日

岡村 恵子 議員

金額
(消費税込)

1,592円

第3回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
 (平成30年7月5日、9日、11日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

菅原 達



領 収 証

No. _____

岡村けい子 様

平成30年6月29日

金額	百	千	円
¥14256			

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>

上記金額正に領収いたしました

但し 7/1入 4000枚折込料とLZ

収入
印紙

ASA (有) 読売新聞佐野東部専売所

代表取締役 藤野

〒327-0023 栃木県佐野市浅沼町863
TEL 0283-22-5114
FAX 0283-22-5114

取扱者
[Redacted]

領 収 証 岡村けい子 様 No. 233

金額

¥10,692-

内 訳
現金
小切手
手 形
消費税額等(%)

但 B4×3,000枚「岡村けい子」折込代
7/1折込
30年6月29日 上記正に領収いたしました

収入印紙

ASA 佐野東部

所長 原田 誠
栃木県佐野市浅沼町863
TEL 0283-21-1525
FAX 0283-21-0103

コクヨ ウケ-92

領 収 証

No. _____

岡村けい子 様

30年6月9日

金額 ¥10,692-

但 3,000枚 B4. 7/1入. 折込料

上記の金額正に領収致しました

収入
印紙



佐野ブランド「さのまる」
キャラクター



朝日新聞
佐野西部専売所

堀川新聞店

堀川悦郎

〒327-0014 栃木県佐野市天明町2707
TEL.0283-22-0894 FAX.0283-22-0790

領収証

岡村けい子 様

金額	百万	千	円
		7128	

但し 11/11 入金 折込料 2000 枚
上記の金額正に領収致しました

平成 30 年 11 月 8 日

収入
印紙

佐野市伊勢山町 1804-2

読売新聞佐野東部専売所

代表 三澤 文男

TEL 0283 (27) 2040

FAX 0283 (27) 2041

領収証

No. _____

平成 30 年 11 月 8 日

岡村けい子 様

金額	百	千	円
		7128	

上記金額正に領収いたしました

但し 11/11 入金 B4 2,000 枚

現金	
小切手	

収入
印紙

読売センター佐野南部

代表取締役 大場 均

〒327-0837 栃木県佐野市植野町1873 泉ミナマンション1F
TEL 0283-22-9947

取扱者

領収証

岡村けい子 様

No. 442

金額

¥10,692-

但し B4 x 3,000 枚 折込代として 11/11(日) 折込

内訳	
現金	
小切手	/
手形	/
消費税額等(%)	

30 年 11 月 8 日 上記正に領収いたしました

ASA 佐野東部

所長 原田 誠

栃木県佐野市浅沼町 86

TEL 0283-21-1525

FAX 0283-21-0103


領 収 書

平成30年11月8日

岡村 けい子様

¥50,220-

上記の金額正に領収致しました
但し 印刷代 (9月議会報告)



収入印紙
200円

総合印刷・印刷紙器・写真製版

豊文堂印刷紙工株式会社

本社 栃木県佐野市柴町3-1 ☎0283-21470(代)

領 収 証

No. _____

平成30年11月8日

岡村 けい子様

金額	百	千	円	
				¥14256

現金	✓
小切手	

上記金額正に領収いたしました
但し 11/11 4000枚 折込料と12

収 入
印 紙

読売新聞佐野専売店

代表取締役 藤 野

〒327-0023 栃木県佐野市
TEL 0283-225114
FAX 0283-225114

取 扱 者

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領収証

No.

20 年 11 月 8 日

岡村けい子 様

金額 ¥ 10,692.-

但 3,000円 54円2" / 11 x 水折込料

上記の金額正に領収致しました

収入
印紙



佐野ブランド
キャラクターのまる
©佐野市



朝日新聞
佐野西部専売所

堀川新聞店

堀川悦郎

〒327-0014 栃木県佐野市天明町2707
TEL.0283-22-0894 FAX.0283-22-0790

領収書

岡村けい子 様

平成 31年 1月24日

¥ 53,460.-

上記の金額正に領収致しました
但し 12月市議会報告



総合印刷・印刷紙器・写真製版

豊文堂印刷紙工株式会社

本 社 栃木県佐野市栄町3-1 ☎0283②1470(代)

領 収 証

2018年 12月 19日

岡村恵子 様

★ 71035-

但 佐野議員団 ニュース

上記まさに領収いたしました

日本共産党栃木県南部地区委員会
栃木県佐野市富岡町富岡3-8-8
〒327-0844 電話 (0283) 20-5365

領 収 証

No. _____

平成 31 年 1 月 25 日

岡村けい子 様

金額		百	千	円
	¥	1	4	256

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>

上記金額正に領収いたしました
但し 1/27入 4000枚折込料にて

収 入
印 紙

YCC (有) 読売新聞佐野専売所

代表取締役 藤 野
〒327-0023 栃木県佐野市伊勢山町1804-2
TEL 0283-22-5114
FAX 0283-22-5114

取扱者
[Redacted]

領 収 証

岡村けい子 様

金額		百万	千	円
	¥	7	1	28

但し 1/27入 折込料
上記の金額正に領収致しました

平成 31 年 1 月 25 日

収 入
印 紙

佐野市伊勢山町 1804-2

読売新聞佐野東部専売所

代表 三 澤 文 男

TEL 0283 (27) 2040

FAX 0283 (27) 2041

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領 収 証

No. _____

平成 31 年 1 月 25 日

岡村 けい子 様

金額	百	千	円
		7128	

現金	
小切手	

上記金額正に領収いたしました

但し 1/27 入 B4 2,000 枚

収 入
印 紙

ASA 読売センター佐野南部

代表取締役 大場 均

〒327-0837 栃木県佐野市植野町1873 泉ミナマンション1F
TEL 0283-22-9947

取扱者

領 収 証

No. _____

31 年 1 月 25 日

岡村 けい子 様

金額 ¥ 10,692.-

但 2,000 枚 B4 1/27 入札

上記の金額正に領収致しました

収 入
印 紙



佐野ブランドさのまる
キャラクター
©佐野市



朝日新聞
佐野西部専売所

堀川新聞店

堀川 悦郎

〒327-0014 栃木県佐野市天明町2707
TEL.0283-22-0894 FAX.0283-22-0790

領 収 証

岡村 けい子 様

No. 085

金額

¥ 10,692.-

但 折込代 (B4 x 3,000 枚) 1/27 (A) 折込 212

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等 (%)

H31 年 1 月 25 日 上記正に領収いたしました

ASA 佐野東部

所長 原 田 誠
栃木県佐野市浅沼町863
TEL 0283-21-1525
FAX 0283-21-0103

収 入 印 紙

領 収 証 2019年3月18日

様

左レシートの金額正に領収致しました。(レシートの無い場合、下記の金額を領収金額と致します。)

お買上票
カンセキ
毎度ありがとうございます
佐野店 ☎ 0283-24-8282

金額	百万	千	円
	4	180	0

金額の頭部に¥をつける。(内消費税) 円)

クレジット払い
但し 品代

本日は、来店いただきまして誠にありがとうございます。只今、スマイルカード会員募集中 毎週土・日は2倍ポイントデー

2019年03月18日(月) No. 0029

No029S/C

4901470151864 JAN
コピー用紙 インダホホワイト
57 x 単2570 ¥12,850

4901470151871 JAN
コピー用紙 インダホホワイト
107 x 単516 ¥5,160

合計 **¥18,010**
(内税 ¥1,334)

株式会社カンセキ

本社/栃木県宇都宮市西中野本町1番1号
TEL.(028)658-8123

店名 / 佐野店
TEL / 0283-24-8282

重複しての領収証の発行はできません。

割印

収入印紙

200円

割印のこと

担当

クレジット売上票

お客様控え

この控えは大切に保存して下さい

カード会社 5 -010

TS3 MASTER

会員番号 XXXXXXXXXXXX

有効期限 ****年**月

お取扱日 伝票番号

2019年03月18日 20545

商品区分 取引内容 取扱区分

0000990 お買上 110

処理通番 [一括払い]

1122 金額 ¥18,010

承認番号 税送料 ¥0

0021071 合計 ¥18,010

ご案内

TS3 MASTER

アカトウ コザイマシタ

4000-1122-00-00-0318

加盟店

佐野店

TEL 0283-24-8282

クレジット計 **¥18,010**
(消費税等 ¥1,334)

お買上商品の返品や交換の際には商品とレシートが必要となります。また、返品や交換はお買上日から一週間以内とさせていただきます。

※金額



う、また重ならないように添付してください。

領収証

岡村けい子 様

金額	百万		千		円	
		4	10	6	9	2

但し24%の折込料3,000枚
上記の金額正に領収致しました

平成31年3月20日

収入
印紙

佐野市伊勢山町1804-2

読売新聞佐野東部専売所

代表 三澤文男

TEL 0283(27)2040

FAX 0283(27)2041

領収証

岡村けい子 様

No. 151

金額

内訳
現金
小切手
手形

但し折込代(B4x2500枚)として
31年3月20日 上記正に領収いたしました

収入印紙

ASA 佐野東部

所長 原田 誠

栃木県佐野市浅沼町86

TEL 0283-21-1525

FAX 0283-21-0103

24折込

コクヨ ウケ-92

領収証

No. _____

平成31年3月20日

岡村けい子 様

金額	百		千		円	
		4	10	6	9	2

上記金額正に領収いたしました

但し24% B4 3000枚

現金
小切手

収入
印紙

読売センター佐野南部

代表取締役 大場 均

〒327-0837 栃木県佐野市植野町1873 泉ミナマンション1F
TEL 0283-22-9947

取扱者

領 収 証

No.

平成 27 年 3 月 20 日

岡村 けい子 様

金額 ￥ 10,692.-

収入
印紙

但し 3/24 8000枚 折込料にて

上記の金額正に領収致しました



佐野ブランドさのまる
キャラクター
©佐野市



朝日新聞
佐野西部専売所

堀川新聞店

堀川悦郎

〒327-0014 栃木県佐野市天明町2707
TEL.0283-22-0894 FAX.0283-22-0790

領 収 証

No.

平成 27 年 3 月 20 日

岡村 けい子 様

金額	百	千	円
	2	8	512

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>

上記金額正に領収いたしました

但し 折込料 8000枚 3/24入

収入
印紙

ASA (有) 読売新聞佐野専売所

代表取締役 藤 野

〒327-0023 栃木県佐野市
TEL 0283-22-5114
FAX 0283-22-5114

取扱者



平成30年度予算審査

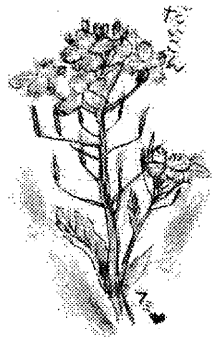
手法が定まらないまま進められる 「出流原PA周辺開発整備事業」 一方で市民サービスは削減！

2月議会報告



日本共産党市議会議員
岡村 けい子レポート

発行所
佐野市富岡町138-2
電話24-2738
2018年5月15日
136号



2月定例会議会は、2月23日から3月16日まで開催され、意見書1件、報告1件、議案51件、また平成30年度予算関係10件の審議が行われました。党議員団は、「市長及び議員の手当てを引き上げる議案」や「入学資金融資条例の廃止議案」、「敬老祝い金を削減する条例議案」、「市民病院事業を廃止するための条例議案」等に反対しました。予算関係では、「一般会計」、「国民健康保険」、「介護保険」、「後期高齢者医療保険」等に反対しました。また、市民から出された陳情「道路の待機所設置について」は、議決ではなく市と地域住民の話し合いが求められるという立場で反対しました。

なぜそんなに急ぐ！

出流原PA周辺総合物 流開発整備推進事業

平成30年度の予算には、早期着手区域（6ゾーンのうち1ゾーン）の事業化を図るため、測量を実施するとして約2千万円が計上されました。前年度は、県との協議を進める等1660万が予算計上されましたが、そのうち約1300万が使われず繰越になりました。その理由として民間からの参入の声もあるため手法が定まらないとの事であり、そうであれば30年度の測量等の計上は問題があると指摘しました。

入学資金融資条例が 廃止

高校生に30万、大学生に100万円をそれぞれ入学時に融資する制度を廃止するための提案がありました。生活困窮の方々でも安心して進級できるようにつくられた制度であり、廃止すべきでない、この提案に党議員団は反対しました。

敬老祝い金削減

99歳の方々への祝い金を5万円から2万円に、101歳以上の方に毎年5万円を2万円に削減する提案があり、党議員団は反対しました。

制度改定で後退する 介護保険制度

*介護保険料（全国的に値上げされる中）本市は値上げせず

平成30年度からは第7期（30・31・32年度）が始まり新たな保険料設定がおこなわれました。今までの保険料でも市民の負担は限界であり7期には値上げしないように求めてきました。その結果、溜め込んだ基金約5億円を投入し値上げしないことになりました。このことは評価しました。

*介護サービスは後退

要支援者の介護給付が打ち切られ地域で支え合う制度になり、さらに平成30年度からは福祉用具の価格に上限設定（打ち切られる用具が出てくる）生活



岡村恵子 委員

平成30年度の予算審査をする岡村けい子

佐野市中小企業及び 小規模企業振興条 例が制定される

昨年9月議会の一般質問で取り上げ求めてきた中小企業及び小規模振興条例が制定されました。市の責務も明記され「振興に関する施策の充実・受注の機会を増大する」等、今後、市は取り組み強化が求められます。

援助サービスの利用制限などサービスを削減する方向であります。「共生型サービス」「介護医療院」は医療から介護へ、「我がこと・丸ごと」地域共生社会構想は公的サービスから住民同士の支えあいを押し付けるものです。

ますます負担が増える 後期高齢者医療制度

平成30年度からの保険料について、均等割が43200円、所得割が8・54%と変更はありませんが、低所得者の所得割の軽減率が5割から2割へ、そして平成30年度はこの軽減制度がなくなるため値上げになる方々が出てきます。そして平成30年からは賦課限度額が57万円から62万円に引き上げられます。ますます負担が増える医療制度です。また滞納者の内33人に罰則の短期の保険証が発行されていて問題です。

岡村けい子の一般質問から

平成30年度から広域化になる 国民健康保険事業

保険税 一世帯 平均約 1万5,000円引き下げ

しかし 均等割値上げで多子世帯が値上げに!

多子減免制度 を実施すべき 均等割値上げは 子育て支援から逆行

子育て支援から逆行

国民健康保険については、平成30年度から県が主体で運営する制度になりました。制度が変わったことで新たな保険税設定がなされました。その結果本市では1世帯あたり平均1万5000円引き下げになります。しかし保険者1人につきかかる均等割が39、600円から44、400円円に引き上げになるために、2.8%の世帯、499世帯が値上げになります。



	29年度	30年度
所得割	11.3%	11.1%
資産割	30.9%	— (廃止)
均等割	39,600円 (1人につき)	44,400円 (1人につき)
平等割	40,200円	31,200円

※国保税の計算は、所得割+均等割+平等割の合計になります。均等割は家庭の人数で加算されますので家族が多ければ多いほど、低所得者ほど負担が多くなります。

この均等割値上げにより、低所得者や子どもが多い世帯の負担が重くなることは、子育て支援に逆行すること指摘しました。全国の自治体の中で進めている多子減免制度を実施すべきと求めました。

「今後、国から交付される『子ども被保険者の数により支援される財政調整交付金』が(約2000万円)交付されるのでこの施策の趣旨を踏まえた対応を検討していく。」との答弁でした。

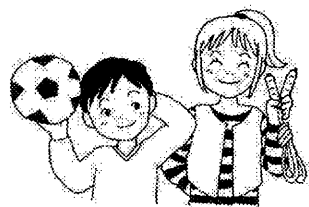
保険証交付と滞納対策について

広域化により県に100%支払わなければならない「納付金」制度のため、滞納対策の強化が危惧されます。そのことに加え、保険者努力支援制度は、収納率等が評価の指標となり、その成果によって金額が決まってくるため、このための滞納対策強化も危惧されます。



一般質問をおこなう岡村けい子

世帯の経済的負担 子育て軽減について



ひとり親家庭医療費助成について

質問 一人親世帯が医者にかかったときに扶助される医療費助成について1レセプト(1回)500円(16歳までかからない)が負担になっているが撤廃するべきではないか。

答弁 児童扶養手当対象者のみがこの医療費助成の対象者である。所得制限で児童扶養手当を受けない世帯もあり、今までどおりの制度としたい。

子ども医療費助成の年齢引き上げを求める

答弁 高校3年生まで医療費助成をおこなうと約7000万円必要になる予測である。中学3年生までの窓口無料は近隣市と比較しても遜色ないものになっている。

子どもの実態把握を行い
就学援助制度の充実を

答弁 決めの細かい実態把握に努めていきたい。

第2次佐野市一般 廃棄物(ごみ) 処理基本計画(案) について

質問 基本計画案では「受益者負担の適正化」と称して「家庭ごみの有料化の検討」としているが、ごみ減量に逆行する有料化はおこなうべきではないと考えるが市の見解は。市民とよく協議するべき。

答弁 市民とともに進めていきたい。

陳情第1号

道路の待機所設置についての陳情

陳情が出された道路の場所は飛駒町2571番地から2593番地のお宅近辺にある認定外道路であり、地元町会からは今までも道路の拡幅や市道への格上げの要望が市当局に出されてきました。

市は待機所設置について土地を無償で提供していただくことや測量等の費用負担を地元の方々がおこなうなど求めてきた経緯があります。陳情の趣旨は、市に対し待機所の設置を求める陳情であり、党議員団は、議決ではなく市と地域住民の間で引き続き話し合いが必要であると判断し反対いたしました。



日本共産党市議会議員

岡村

けい子レポート

発行所
佐野市富岡町138-2
電話24-2738
2018年6月27日
137号

6月議会報告

6月定例会議会は、6月1日から15日までおこなわれ、意見書案1件、報告8件、市長の専決処分関係5件、議案11件、陳情1件、最終日監査委員の選任について審議されました。

日本共産党議員団は、**■市長の専決処分の国民健康保険税条例について、**議案第68号佐野市税条例等の改正について反対。

陳情「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情について」採択するべきであると主張しました。

■市長の専決処分で出された「国民健康保険税条例改正」の内容は法定減免の拡充と限度額引き上げの内容です。限度額が89万円から93万円に引き上げられるものです。今回の改正で影響がある世帯は、310世帯で、これにより市民負担は1130万円の増税となるため反対しました。



最終日に討論をおこなう岡村けい子

■「議案第68号佐野市税条例改正等の改正」は、個人所得課税の見直しがおこなわれ、それに伴い個人住民税についても、平成33年度分からおこなわれるものです。国の「働き方改革」を後押しするとして、給与所得控除と公的年金等控除を10万円引き下げる一方、基礎控除を10万円引き上げ33万円から43万円にするものです。さまざまな働き方を応援するとして、2つの控除の意義を無視して給与所得控除引き下げは問題です。このことで合計所得金額や総所得金額が増となる場合があります。さまざまな社会保障制度の負担増がなされる場合があります。また給与所得控除の上限額が220万円から195万円に引き下げられ、このことで約1千人が増税など問題です。

「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める 陳情」 党議員団（岡村けい子・つるみ義明）は採択を主張

最終日 賛成5人・反対18人 で否決される

東海第二原発の再稼働の動きが活発化する中、稼働延長の手続がなされてきていますが、議会には原発を認めない栃木の会からの「稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情」が提出され審議されました。

最終日には採決がおこなわれた結果、賛成5人、反対18人で否決されました。

東海第二原発は現在運転を中止していますが、もし稼働延長が認められた場合、過酷事故の発生及びそれによって発生した放射性物質によって、栃木県にも甚大な被害が及ぶ恐れがあります。佐野市は東海第二原発から90キロ圏内（左地図）でありますが、風の向きによっては甚大な被害に広がることも想定されます。

**東日本大震災でも危うい状況が起きていた！
この事実を忘れてはならない**

東日本大震災で被災した東海第二原発では、非常用発電機の一部が停止し綱渡りの作業が3日半続いていたという事実を私たちは忘れてはなりません。

福島第一原発の事故原因も未だ明確になっていない中、東海第二原発の的確な安全対策がおこなわれるか疑問です。

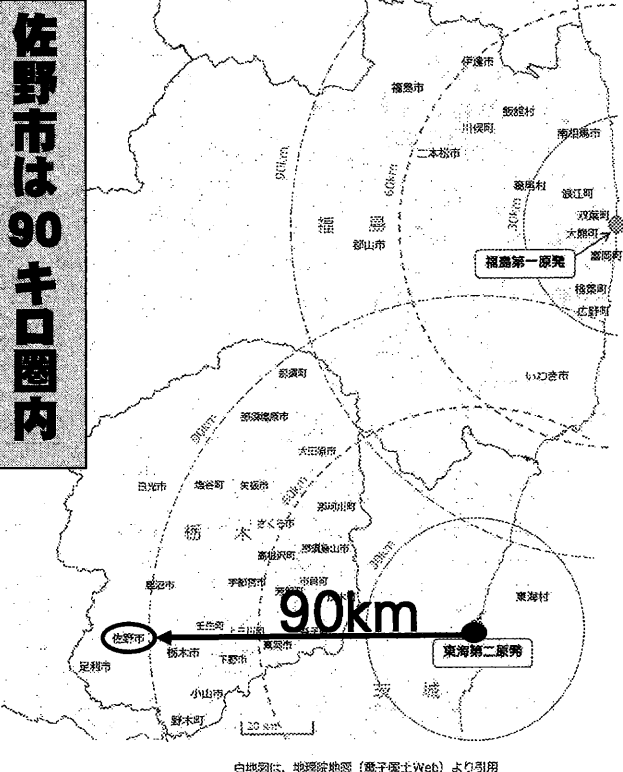
茨城県内では、約6割の26自治体が再稼働反対の意見書を提出しています。審議の中では、茨城県内の状況を見守ると言う趣旨の発言もありましたが、他人事ではありません。

党議員団はこの陳情を採択し国に意見書を提出するべきという立場で賛成しました。

別紙
東海第二原発、福島第一原発との位置関係

大きな被害を受けた飯館村と福島第一原発との位置関係は、茂木町など栃木県東部に大きな被害をもたらすであろう事を示している。福島市では、今なお除染作業が続いている。栃木県に当てはめてみると、県央そして山で覆われている県西部に被害が及び懸念が拭い去れない。

佐野市は90キロ圏内



市民の足腰削るな！削減目白押し

平成30年度

体育協会補助金

850万円 → 810万円

35町会運動会 開催支援事業費

1,720万円 → 910万円

岡村けい子の一般質問から

質問・答弁は要旨

市民に痛い補助金削減

市は財政を理由にさまざまな市民サービスを削減しています。が、市民生活に密着した補助金も削減してきています。

代表的なものは、体育協会や町会主催の運動会開催支援費の削減（上記）等があり、スポーツ立市を掲げる市のあり方としては問題ではないでしょうか。

また市民生活に密着した団体への補助金もさまざまな理由で削減しています。

一方開発着実に

土地購入の計画

質問 出流原P A周辺総合物流開発整備事業について、平成30年度の予算審査の答弁では、民間の参入もありうるというながら、手法が定まらないままAゾーンの測量の予算計上は問題ではないか。

答弁 基本計画を策定して議員のみなさんに計画内容を示したあと、基本計画に向けた開発区域の測量に着手していく予定となっている。現在策定中の基本計画では、Aゾーンの整備について、本市が事業主体になり推進していく。



一般質問をおこなう岡村けい子

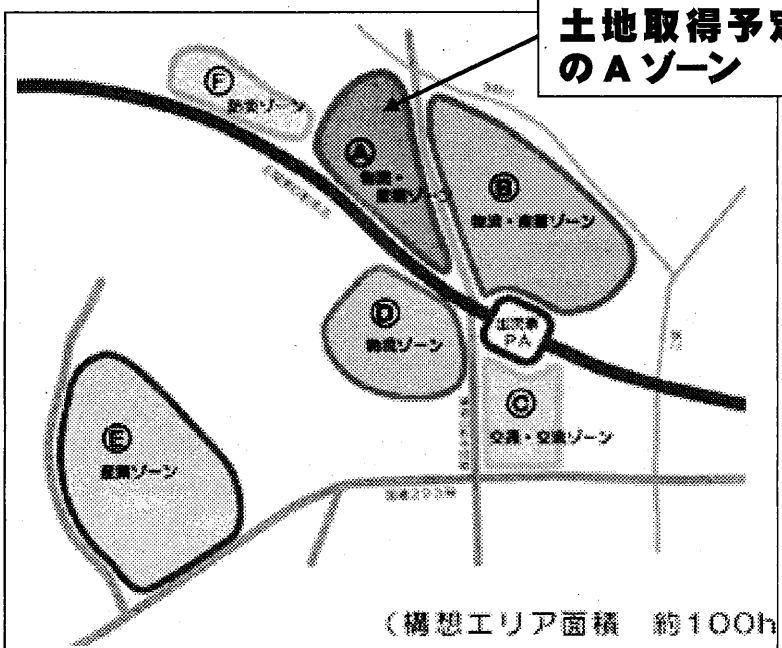
平均寿命が県内最低の市に

なったことについて

全力で克服すべき課題

マスコミ各紙は佐野市が男女とも平均寿命が県内最低（男79・2歳・女85・5歳）であった事を報道したが、市政の反映とも言えるのではないか。全市あげて全力で改善策を講じるべきであると意見を述べました。

土地取得予定のAゾーン



（構想エリア面積 約100h）

市民が切実に求める デマンドタクシーを 本市でも

市民の方から、「栃木市がおこなっている『蔵タク』デマンドタクシーがうらやましい」との話がありました。

その声を受け、本市でも全学的に対応できるデマンドタクシーの導入が求められているのではないかと質問しました。

答弁では、本年度持続可能

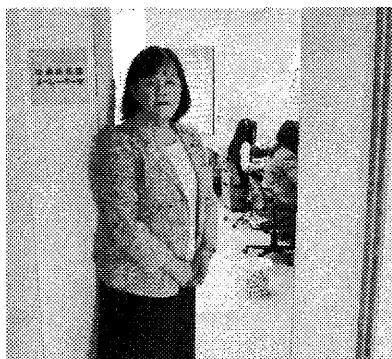
な公共交通ネットワークの再構築を目指し、地域公共交通再編実施計画の策定を進めている。計画ではデマンドバスなどの運行形態についても検討する予定となっているので、デマンドのメリットデメリットを整理するなどして最もふさわしい運行形態になるように検討していく。



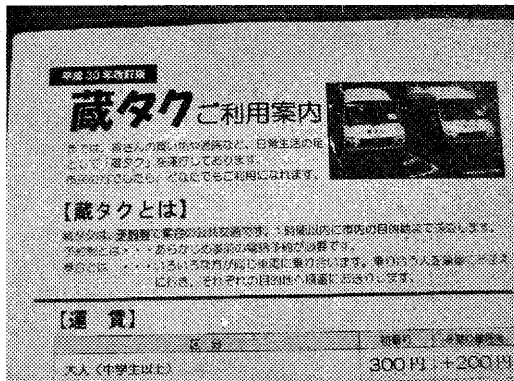
栃木市「蔵タク」を視察する

視察報告

栃木市では、買い物や通院など、日常生活の足として「蔵タク」を運行しています。登録した市民の方であれば、だれでも300円で利用することができます。運行業務はタクシー会社に委託し（14台の車が用意されている）受付などおこなうためのオペレーションセンターが庁舎の5階には設置しており非正規の職員を8人雇って直営でおこなっています。家まで迎えに来て、行きたいところまで連れて行ってくれます。



栃木市役所5階にあるオペレーション室



蔵タクを案内したチラシの一部



日本共産党市議会議員

岡村

けい子レポート

発行所
佐野市富岡町138-2
電話24-2738
2018年11月1日
138号

9月議会報告

9月定例会市議会が、9月7日から10月1日まで開かれ、報告9件、議案22件の審査、平成29年度一般会計、特別会計、公営企業会計の決算審査がおこなわれました。この中であそ野学園義務教育学校校舎建築工事請負契約、あそ野学園義務教育学校既存校舎改修建築工事請負契約についての2件について反対、決算審査では、一般会計、国民健康保険（事業勘定）、介護保険（保険事業勘定）、後期高齢者医療の4件について反対しました。あとの議案は賛成しました。

また陳情3件について、「犬猫の不妊、去勢手術費用助成金制度設置に関する陳情」、「患者負担を増やさない事を求める国への意見書提出に関する陳情」、「難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情」について賛成しました。

あそ野学園義務教育学校とは？

田沼西中を拠点とした佐野市内で始めて
開校する小中一貫校

※田沼西中・戸奈良小・三好小・山形小・閑馬小・下彦間小・飛駒小・田沼小(一部)をあわせて一校にする。

この建築工事契約に反対しました。

①あそ野学園校舎建築工事

契約金額12億6360万円

落札業者 落札率99.16%

篠崎・酒庭・中里特定建設工事共同企業体

②あそ野学園既存校舎改修建築工事

契約金額6億2154万円

落札業者 落札率99.16%

落合・奥・秀和特定建設工事共同企業体

岡村けい子の討論(要旨)

2つとも高い落札率です。契約の内容は建物の建築、改修だけではなく、机、イス、取り付け黒板等、両方で3億8,700万円も含まれています。備品購入についてはもっと工夫して地元業者を使うべきです。

また、「佐野市事後審査型条件付一般競争入札の実施について」に基づいていることは承知していますが、この場合どのような事後審査をしたのか疑問に思います。

同日に開札したとする2つの契約について、校舎改築工事について、4事業者が応札しましたが、1事業者は、校舎建築工事で落札した業者であり*「取抜け」により辞退。あとの2事業者も辞退をし、結果として1社のみが残りその業者が落札となりました。1共同体のみの開札でその共同体を落札業者に決定してしまうことは競争原理が働いているかどうか疑問です。以上の理由で反対します。

*「取抜け」とは・・・先に発注した工事からおおむね500mの範囲内にある工事については、先行工事の落札者は、当該工事の入札には参加できない。「取抜け」(辞退とする)とする。今回の2つの工事箇所が500mの範囲内にあり、そのためにそれぞれの案件に参加していた、篠崎・酒庭・中里特定建設工事共同企業体が、先行工事の落札者になったため「取抜け」となった。



決算審査をする岡村けい子



29年度決算審査 もっと市民サービスの充実を！

一般会計

平成29年度決算では、実質収支(収入と支出の差)は27億に上り、この収支は標準財政規模の10.2%になる。本来は3.5%というものである。残しすぎである。

このお金を使えばもっと市民サービスに活用できたのではないか。

たとえば、中小企業融資預託等の予算が約16億円も残ったが銀行の貸し渋りがある実態を把握し改善するべきである。

小中学校のブロック塀改修へ

大阪北部地震で小学生が倒壊したブロック塀に挟まれ死亡した事故を受け、本市でも小中学校のブロック塀の調査が求められました。その結果、建築基準法に適用しないブロック塀があり、その箇所について早急に改修するための補正予算が計上されました。

●補正予算

小学校(9校分)

5805万5000円

中学校(4校分)

3638万6000円



陳情

岡村けい子がおこなった賛成討論の要旨

●患者負担を増やさないことを求める陳情

陳情文のなかには、「この間の医療・介護・年金・生活保護など社会保障全般にわたる制度改悪がおこなわれ、国民生活は困窮を極めていく」と述べています。国の制度改正は、国民の命と健康を脅かすものになっています。「いつでもどこでも誰でも安心して医療機関に受診できる医療保険制度」が形骸化しつつある今、憲法に保障する国の責務として誰もが安心して医療制度を構築するために、議会として意見書を国に提出するべきです。

●難病医療費助成制度の改善を求める陳情

平成26年5月に制定された「難病の患者に対する医療等に関する法律」が成立し、平成27年1月から新たな難病医療費助成制度が創設されました。医療費助成の対象になる「指定難病」は56から330に広がりましたが、医療費助成を受給している人数は伸びてきていないのが実情です。医療費は2割負担ですが、月額負担上限額が施行前より上がってきていることや、軽症となれば助成が受けられない制約が設けられたことがありません。安心して医療を受けられるために制度改正を求める意見書を国に提出すべきです。

意見書を国に提出するべきと主張しましたが、賛成少数で否決されました。

岡村けい子の一般質問から

(質問・答弁は要旨)

●自衛隊山地機動訓練8月2・3日 「災害発生に備え」と広報したことは 事実と違うのではないか

質問 「広報」7月1日号と野上地区への回覧板では、8月2・3日の野上地区でおこなった自衛隊山地機動訓練について、「災害発生に備え」としているが、全員が小銃を持つておこなったこの訓練は、「災害発生に備えた訓練」とは違っていたのではないか。この訓練に関し、市から頂いた資料には「災害に備え」という記載はなかったがどうか。

答弁 自衛隊員が2人来て口頭で伝えられた。



(上下の写真) 岡村が撮影
当日の訓練の様子。全員が小銃を持って訓練をおこなった。



質問 自衛隊が被災地で救助のためなどで活動していることは否定しないが、安倍政権が進めた安保法制で海外での武力行使を可能にした中での訓練と捉えられる。今回訓練をおこなった宇都宮中央即応連隊は、南スーダンでPKO活動(国連平和維持活動)をおこなった部隊である。もし事実を変えて広報したのなら重大であり訂正するべきではないのか。

答弁 野外での歩行訓練と地図判読能力向上の訓練であり、災害対応のためにも有効であると聞き及んでいる。

●介護保険 10月1日からの 生活援助サービスの 回数制限は給付抑制 につながる



一般質問をおこなう岡村けい子

今までにない 回数制限が設けられた

(2018年10月1日から)

- 要支援1 ——— 26回まで
- 要支援2 ——— 33回まで
- 要支援3 ——— 42回まで
- 要支援4 ——— 37回まで
- 要支援5 ——— 31回まで

質問 要介護者の生活援助サービスの利用回数は、今までは利用回数の制限が

おこなわれていなかったが、10月1日から回数の制限が設けられた(右表)。

今後、国が毎年回数制限の数を決めるといふ。制限を越えたサービスについて、ケアマネジャーに報告を義務付け、「ケア



会議」にかけるとしている。生活援助は特に1人暮らしの人など、朝夕訪問介護を受けることで生活が成り立っている人もいる。この回数制限では平均1日1回程度の利用になってしまふ。これでは生活が成り立たなくなるのではないか。

答弁 この回数制限は、単に回数を制限するというだけでなく適切なケアプランになるようにすることである。ケアマネジャーの視点だけではなく他職種の検討により必要に応じてケアプランの見直しをおこない「自立支援」をおこなうことである。

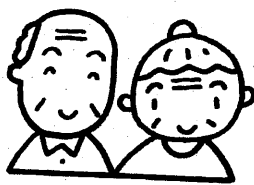
質問 ケアプランで制限を越えてしまっている人はどのくらいいるのか。

答弁 今までの実態では約20名から23名ぐらいである。

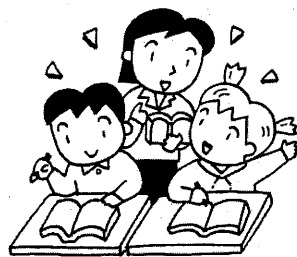
質問 この回数制限は、サービスがもつと必要だと思われる人でも、ケアマネジャーがケアプランを立てる時にサービスを抑制することにつながっていかないか。

答弁 要介護者が必要な介護サービスを受けられるよう、ケアマネジャーへは

今回の変更部分も含め、適正なケアプランの作成を指導していきたいと考えている。



●子どもの教育 どんどん進められる 小中一貫校 これでいいのか



質問 小中学校適正規模・適正配置計画では、前期の計画で田沼西地区、葛生地区が小中一貫校に、後期計画の中で、施設一体型小中一貫校として赤見地区の赤見中・出流原小・石塚小・赤見小を、赤見中学校を拠点校とする、1つの小中一貫校にするとしているが、今後どのようなやり方で進めようとするのか。

答弁 庁内の検討委員会では平成30年度中に見直し案を策定し、さらに外部の委員で構成される検討委員会で意見を頂いて見直し案を策定する予定である。

質問 検証もなくどんどん進めるやり方で進めることに疑問を感じる。この進め方でいいのか。

答弁 35年度から後期計画を進めるとなれば間に合わないので今年度から検討を進める。

質問の最後に、「国連子どもの権利委員会」から指摘されているように過度な競争による教育環境の改善、少人数級、子どもの貧困問題の解消などが必要ではないかということを指摘しました。

インランドポートの検証なく 出流原開発で拡張は問題

12月議会報告



日本共産党市議会議員
岡村 けい子レポート

発行所
佐野市富岡町138-2
電話24-2738
2019年1月16日
140号

12月定例市議会は、7日から21日まで開かれ報告2件、議案28件、陳情1件が審議されました。党議員団は、市長、副市長、教育長、そして議員の報酬等に関する条例の制定について、それに伴う一般会計の補正予算について反対、それ以外の議案は賛成しました。陳情1件については賛成しました。

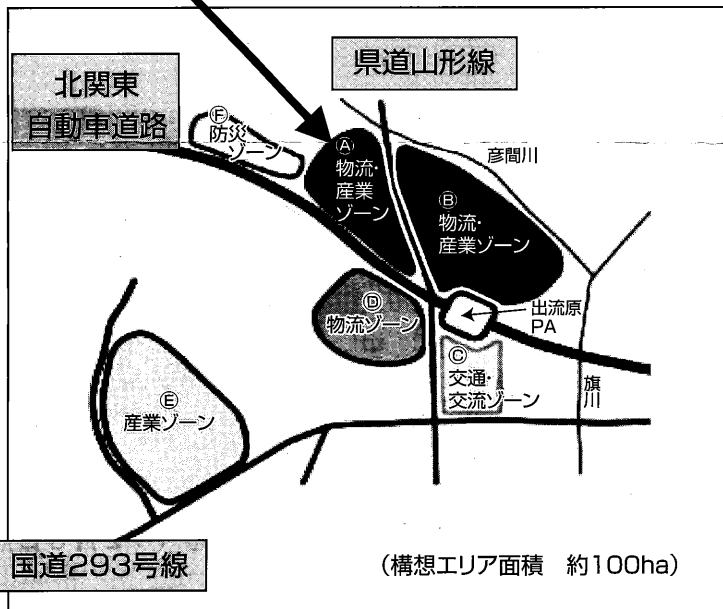
一般質問から (質問答弁は要旨)

税金を使ってつくったインランドポートは、市民に何のメリットをもたらしているのか

佐野インランドポートとは？
市はコンテナ等を置く内陸型物流基地を、第1段階として佐野田沼産業団地内に整備し、平成29年11月から供用開始し吉田運送に管理を任せている。

質問 インランドポートは、市民の税金を8億円も費やして基盤整備をおこない、加えて管理料として7363万円を管理者に払って開始された。現在までに1年数ヶ月たったが、市民にとって何のプラスになったのか。検証すべきではないか。
答弁 コンテナの取扱量は、徐々に伸びてきている。市内の関連する企業に関する仕事等も増えてきていると想定している。稼動してまだ間もないので、今後ますますメリットがあるような方向に進めていきたい。

構想図Aゾーン(矢印の場所)
開発構想図では、AからFまでの6地域を開発するとなっている。その中で市は調整区域のAゾーンを先行して開発するとしている。



十分な検証なく出流原地区に 第2段階拡張は問題

質問 市はインランドポートに加えて、第2段階として出流原PA周辺基本構想図Aゾーンにインランドポートの拡張をしようとしている。先行したインランドポートが市民にとって有益であったのかの検証なしに第2段階を進めるとなれば市民のためならず問題ではないか。

答弁 出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針においては、第1段階として佐野田沼インター産業団地内にインランドポートを整備し、第2段階として出流原PA周辺にインランドポートの拡張にも対応できる物流を中心としながらも、製造業の進出も視野に入れた産業団地の造成を図るとしている。インランドポートの効果を十分に発揮するためには、施設の拡張が必要であると考えているが、拡張の位置や時期については、十分な検証を踏まえたうえで今後検討していきたい。

市長、副市長、教育長、議員 の期末手当引き上げに反対



議案質疑をする岡村けい子

市民の暮らしを 考えたら上げられない

市長や副市長、教育長、そして議員の期末手当の引き上げに関する議案が提出されました。「提案しない市があるにもかかわらず、市長自らの期末手当を引き上げる議案を市長自らがなぜ提出したのか」問いました。「国の閣議決定に基づき、特別職の公務員については一般職に準じておこなうもの」と答弁しました。また「どれだけ手当が上がることか」という問いには、「市長、副市長、教育長は5万円から7万円引き上げ、議員は3万円から4万円の引き上げになる」と答弁しました。全体の影響額としては98万円の支出増となります。「今市民のくらしを考えた時、上げることは適当でない」という立場で反対しました。

最終日の採決結果、
反対は、党議員団2人、他1人
計3人のみでした。
あとの議員は賛成しました。

岡村けい子の一般質問から

放課後子どもクラブ (学童保育) の時間延長について

開所時間午後6時までを 7時まで延長できないか

質問 市民の方からは、午後6時までではなくもっと延長してほしいという切実な声が寄せられている。夕方の開所時間を延長すべきであると考えるがどうか。

答弁 午後6時以降のあずかり延長を望む声があることは承知している。しかしながら1年生から6年生の入所を必要とする全ての児童を受け入れるため、施設整備を現在も進めているところであり、このクラブに従事する指導員の確保につきましても大変苦慮しているところである。指導員にアンケートをとったところ現在の6時までしか対応できないと応えた方が圧倒的に多い現状である。運営には支援単位ごとに最低2名以上の指導員が必要であることから職員各自の就労時間帯等の事情を考慮すると現在では開所時間の延長は難しい。



再質問 午後6時以降まで開所すると国・県からの補助金もある。佐野市に住めば安心して子育てが出来る環境を整えるべきではないか。そのためには指導員の処遇改善等をおこなっていく必要があると考える。

障がい者差別 解消推進条例と 手話言語条例の制定 について

質問 国では平成25年に障害を理由とする差別解消の推進に関する法律を制定している。県でも平成28年3月に条例化している。

答弁 条例は制定していないが、法施行後の取り組みとして、ガイドブック等を作成して障害のある人を理解すること、また職員の適切な対応にも取り組んでいる。また啓発活動などもおこなっている。市自立支援協議会においても所管事務として対応している。今後とも、県などとも連携して差別の解消に努めていく。

再質問 栃木市では共生社会をつくるとして条例制定を予定している。本市でも前向きに検討するべきだ。



質問に先立ち 県立聾学校を視察する(12月6日)

手話言語条例について

質問 2011年に国は、障害者基本法において手話が言語である事を始めて明記した。この間、私は佐野市聴覚障害者協会の方々の懇談や、県立聾学校の視察などもおこないその意味を実感した。(右写真)

答弁 日光市、鹿沼市では条例制定を、栃木市では制定に向け準備を進めている。本市でも制定し、手話の整備をもっと進めるべきだ。

再質問 先進地に事例などを参考にして今後研究していきたい。



岡村恵子 議員

可決した
陳情

「医療費助成」における(重度心身障害者 医療助成制度)精神障がい者の適用に関する意見書について

賛成多数で可決し、県に意見書を提出することになりました。

岡村けい子がおこなった賛成討論(要旨)を掲載します。



陳情の内容は、重度の身体障がい者や知的障がいの手帳保持者に対して認められている、重度心身障害者医療助成制度を重度の精神障がい者に対しても同等に認め、栃木県において必要な措置を講ずるよう意見書の提出を求めるものです。

栃木県重度障害者医療費助成は、一定の障害を持つ方が、病気やけがで健康保険が適用になる診療を受けた場合、医療費1レセプト500円以外の窓口負担分を県と市が折半で負担する制度です。佐野市はこの500円を市が負担しています。

重度の精神障がい者は障害年金を受給し、給料がある人でもなかなか自立できない状況です。安心して医療を受けるために精神障がい者にも医療費助成が必要であり県に意見書を上げるべきです。

岡部市政
これで良いのでしょうか？

出流原_△開発に

市民置き去り 28億1250万円



日本共産党市議会議員
岡村 けい子レポート

発行所
佐野市富岡町138-2
電話24-2738
2019年3月20日
141号

2月議会報告

2月定例会市議会は、2月22日から3月15日まで開かれ、議員案2件、報告3件、議案23件、平成31年度予算関係9件、請願1件・陳情1件が審議されました。党議員団は、副市長2名体制に反対、その他6議案に反対しました。「消費税増税中止を求める請願」については賛成、その他陳情1件について賛成しました。また追加議案が4件出され賛成しました。

Aゾーンの「基本計画」 議会終了まで隠す

Aゾーン開発の事業費や詳細内容が入った「基本計画」を本来は、議会に提出し、議会で審議しなければなりません。平成31年度予算には、「出流原PA周辺総合物流開発整備の事業実施に向け測量をおこない、基本設計を作成する」として、4775万5000円が計上されています。この大本となる「基本計画」の内容を議会で何度聞いても「最終日に説明するから」と一切公開の場所である議会での答弁を拒否しました。これは住民の税金を膨大に使う計画でありながら、住民には一切知らせずに進めることであり大問題であると指摘しました。なぜこのように秘密裏に進めなければならないのかと疑問視されても仕方がありません。

10.8ヘクタール 造成する具体的内容を 明らかに出来ず

この「基本計画」(土地購入や造成)について、執行部は議会終了後全員協議会の場で説明しました。現場は半分が鉱山跡地であり、また丘陵地に加え、廃棄物も埋められていることなど、一般の平地とは違った条件の中で造成する事になるなど適地ではないのではとの指摘に明確な答えはありませんでした。

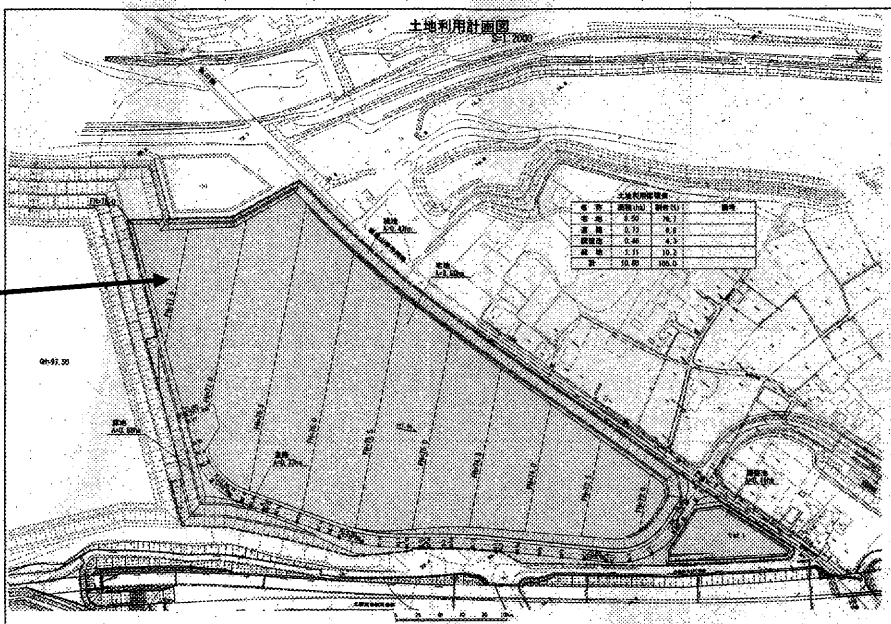
造成は道路・緑地などを除き全体を1枚盤の計画を基本としています。「何をつくるのか」との質問にも具体的に答えることが出来ませんでした。

内容不明な開発に 莫大な税金を投入

市は「今後販売価格に反映させていきたい」と述べていますが、事業の具体的根拠もないこの事業に莫大な税金をつぎ込むことになれば、取り返しのない事になります。

市民生活ではもっと切実な問題(教育・福祉・医療等)を抱えており誰が考えても納得のできるものではありません。

概算事業費	
造成・施設費	13億6317万7000円
調査・設計費	1億7710万3000円
補償費	3億5270万2000円
用地費(非課税)	7億2962万6000円
合計	28億1250万円(税込み)

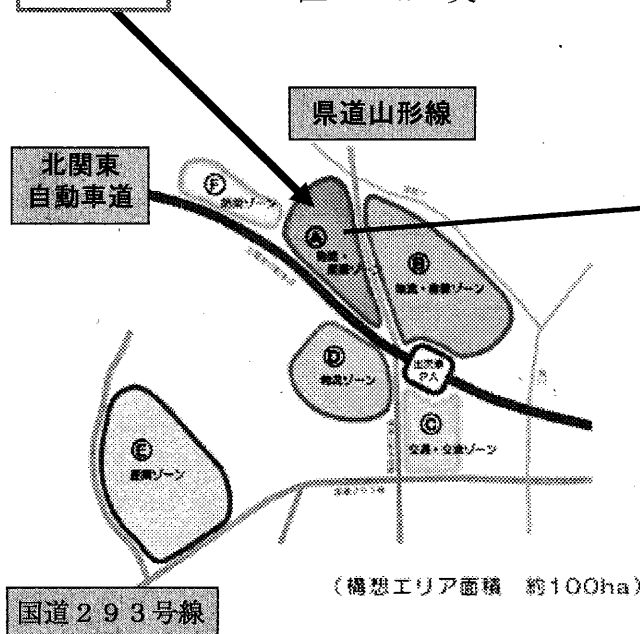


(左図) 基本計画に記載された造成後の現地図

- * 雨水排水 調整池から旗川へ放流
- * 污水排水 個別の浄化槽
- * 上水道 給水管接続 (現在の地権者は16人)

住民無視の政治では 市民は幸せになりません！

構想図Aゾーン(矢印の場所)
開発構想図に基づき、市は調整区域のAゾーンを先行して開発するとしている。



副市長は本当に2名必要なのか？

任期満了にもとづく、副市長2人を選任する議案が出されました。合併後、分庁舎方式できていたため、2人の副市長を置く必要性は認めてきたところですが、しかし、新庁舎もできて実務も効率化が図られましたので、今回は副市長2名は認められないとして反対しました。

副市長の年収は、1548万1千円（共済費含む）であり、2人で3096万2千円です。

給料の減額もなく、市民の税金で不要と思える副市長2名体制は問題ではないでしょうか。

反対した議員（4人）

岡村けい子

つるみ義明

金子保利

小倉健一

退席（1人）

鈴木靖宏

賛成（18人）

他の議員は

賛成

（敬称略）

副市長2名分
15,481,000円×2名
= 30,962,000円

岡村けい子の一般質問から

国民健康保険税について

1兆円投入を国に求め均等割の廃止を

均等割は人頭制で、子どもや家族が多ければ多いほど負担が重くかかってくる制度であり、子育て支援にも逆行しています。協会けんぽはこの均等割の制度はなく、国保の均等割、平等割をなくせば協会けんぽ並に引き下がります。（左表）

全国知事会や市長会でも国に1兆円を求め、均等割をなくして協会けんぽ並みの保険税にするよう求めています。質問では、国から国保への1兆円投入実現が求められていることを確認し、市独自でも多子世帯等の均等割軽減策を講じるべきであると求めました。

佐野市（平成30年度）の例
（年収400万円4人家族の場合）

国保税 36万9300円
これから均等割・平等割を除くと
20万9700円

協会けんぽ保険料
19万8400円

国保・協会けんぽ ほぼ同額になります。

予算審査から

自衛隊に適格者名簿提出は問題

本市では平成24年からは、自衛隊に対し適格者名簿を書類で提供しています。それまでは閲覧であり自衛隊が来て書き取りをしていたとのこと。

平成30年4月1日には1078人の名簿を紙ベースで提供しているとの答弁でした。
本人の承諾なしに提供していることは問題であり改善すべきです。

就学援助の充実を

平成31年度から入学援助金や修学旅行費などが拡充されます。

卒業アルバム等の補助も創設され本市でもしっかりと必要な方に支給するよう求めました。

*入学準備金	
小学校	40600円 ↓ 50600円
中学校	47400円 ↓ 57400円
*修学旅行費57590円 ↓ 60330円	
*卒業アルバム等	
小学校	10890円
中学校	8710円

増税中止を求める市民の切実な声！

国に対し「消費税増税の中止を求める意見書」の提出を求める請願（新婦人の会佐野支部提出）
党議員団（岡村けい子・つるみ義明 議員）以外
全員の反対で否決となりました。

岡村けい子が最終日おこなった賛成討論（要旨）

今増税に賛成という人たちも「今増税したら大変なことになる」と危惧の声をあげている。経済指標での落ち込みや実質賃金も2012年と比較しても年収10万円も落ち込んでいる状況、平均消費も落ち込んでいる。増税できる経済状況ではない。

増税とともに2023年から導入予定のインボイス制度では、約161万小規模事業者が廃業に追い込まれる可能性と財務省も認めている。

消費税は軽減税率をもって逆進性がなくなるどころかひどくなる。消費税が導入されて30年がたつが国民1人あたり300万円とられた計算になり、全体で300兆円の増収であったが、減収額では法人3税では298兆円、所得税・住民税は275兆円である。消費税収は、大企業の法人税や所得税の減収の穴埋めで消えてしまったというのが実情である。

社会保障のためというが、この間の社会保障の改悪は総額単年度ベースで4・3兆円であり、軍事費は7年連続の増、トランプ大統領に約束した兵器の爆買も問題である。消費税増税でなく、税金の集め方、使い方の見直しこそ必要である。

以上の理由から、国に対し『消費税増税中止を求める意見書』を提出すべきです。



12月定例市議会が始まります！

日程

12月 7日（金）午前10時から
開会日（提案）
12月11日（火）午前10時から
議案質疑
12月12日（水）一般質問
12月13日（木）一般質問
12月14日（金）一般質問

不明な点はお問い合わせください。
議会事務局でも親切に教えていただけます。
議会事務局20-3036

12月17日（月）
午前10時から 建設常任委員会
午後1時30分 厚生常任委員会
12月18日（火）
午前10時から 経済文教常任委員会
午後1時30分 総務常任委員会
12月21日（金）
午前10時から 最終日（採決）

すべて傍聴できますので、ぜひ傍聴
をお願いします。
またインターネットでも配信して
います。
一般質問はケーブルテレビでも放
送されます。

党議員の一般質問

岡村けい子議員
12月14日（金）
午前10時から

質問事項

- 1、インランドポートと出流原 PA 周辺総合物流開発整備事業を進めることに関して
- 2、放課後こどもクラブの時間延長について
- 3、障がい者差別解消推進条例と手話言語条例の制定について

（岡村携帯 090-1848-0192）

つるみ義明議員
12月14日（金）
午後1時から

質問事項

- 1、本庁舎管理について
 - * 免震装置について
 - * 駐車場管理について
- 2、教育行政について
 - * 就学援助について
 - * 教職員の働き方改革について

（つるみ携帯 090-2547-7328）

* 提出された陳情書・・・医療費助成における精神障害者の適用に関する
（厚常任委員会で審議されます） 意見書の提出を求める陳情書（文面は裏面）



日本共産党
議員団ニュース

発行日 2018年12月3日

発行所 富岡町1588 日本共産党佐野市委員会

電話 20-5365